

競技注意事項

- 1 本大会に適用する規則は 2025 年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項による。
- 2 選手の練習は補助競技場でけがをしないように十分注意して行うこと。ジャベリックボール投の練習は招集後、フィールドに入ってからのみ行う。補助競技場への入場は選手及び監督・コーチのみとし、これ以外の入場は厳禁する。
- 3 選手は各自が用意したアスリートビブスを胸部背部に付けて出場すること。なお、トラック個人種目、リレーのアンカーは用意された腰ナンバーを付けること。
- 4 選手はプログラム 1 ページ記載の時間に遅れないように競技場の 100m スタート側の入口に集合し、競技者係に種目とチーム名、自分の名前を申し出る（コールという）。このコールをしない者は競技に出場できない。招集終了後、審判員の引率で所定の位置に移動する。
- 5 リレーのオーダー用紙（競技者係に設置）は予選・決勝とも招集完了 1 時間前までに競技者係に 2 部提出する。当該リレーチームに申し込んであるメンバーでオーダーを組むこと。男女混合リレーは男女各 2 名で編成し、走順は自由とする。オーダー用紙提出後の変更は認めない。マーカーは各チームで用意し、レース後は撤去する。
- 6 中学生は 1 回目の不正スタートで、小学生は同じ競技者が 2 回不正スタートした場合、失格とする。100m、リレーのスタートはクラウチングとする。
- 7 同タイムの場合は 1/1000 秒で確認し、それでも決められない場合には抽選で決勝進出チームを決定する。
- 8 リレーとフィールド競技を同じ時間帯で出場する場合は、トラック競技を優先する。フィールド競技からトラック競技へ行く場合は、担当審判員に申告して、順番を変更して試技をすることはできる。トラック競技から戻った時に、ラウンドが終了していても、そのラウンドはパス扱いとなり、ラウンドの復活はできない。
- 9 1500m、800m はタイムレース決勝であり、各組の上位者で順位を決める。両種目ともにオープンレーンとする。
- 10 走高跳は男女ともに 80cm で練習し、90cm より試技を始める。男女ともバーの上げ方は 1 m20 まで 5 c m とし、それ以上は 3 c m とする。マットへの着地は足裏からとし、背・腰等からの着地は無効試技とする。
- 11 ジャベリックボール投はやり投ピットで行い、助走は 15m 以内とする。角度もやり投同様とする。競技場備え付けの用具を使用する。
- 12 スパイクのピンの長さは 9 mm 以下とする。
- 13 出場する選手及び競技役員・補助員以外、トラック及びフィールド内に入らないこと。
- 14 選手のけが等の応急処置は救護室で行うが、以後の責任は各チームが負う。
- 15 各種目 1 位から 8 位まで賞状を授与する。
- 16 各リレー予選レース及び 1500m・800m 各レースのタイム上位 16 チーム（選手）は国際陸上サバイメント（5/3 エコパ）に出場できる。該当チーム（選手）は結果発表後すみやかに本部で手続きを行うこと。手続きを行わない場合、繰り上げて選出する。